

FDG-PET を用いた ACL 再建術後再受傷予防トレーニングの検討

代表研究者 金山 智之
金沢大学附属病院 整形外科 医員

共同研究者 中瀬 順介
金沢大学附属病院 整形外科 助教

研究要旨

前十字靭帯損傷に対して前十字靭帯再建術を受けた既往のある成人男性に、1 か月間 FIFA11+による介入を行った。介入前後および手術側と非手術側で比較した結果、全ての項目に有意差は認められなかった。これらの結果から、障害予防トレーニングプログラムである FIFA11+は前十字靭帯再建術を受けた患者に対する再損傷予防プログラムとして1か月間の継続のみでは効果が発揮されない可能性が示唆された。
